

# FESTIVAL D CINEMA ITALIANO 2015 OSAKA

イタリア映画祭2015 日本未公開の最新のイタリア映画7本を一挙上映!

2015.5.9[土]-10[日]

大阪市福島区福島1-1-30 ABCホール

主催●イタリア映画祭実行委員会、イタリア文化会館、朝日新聞社、イステイトゥート・ルーチェ・チネチッタ  
後援●イタリア大使館、イタリア総領事館／運営・宣伝協力●有限会社オフィス・リブラ  
字幕協力●アテネ・フランセ文化センター／お問い合わせ●050-5542-8600(ハローダイヤル：～5月10日)

<http://www.asahi.com/italia/>

最寄駅●阪神本線「福島駅」から徒歩5分／JR東西線「新福島駅」から徒歩5分／JR環状線「福島駅」から徒歩7分／京阪中之島線「中之島駅」から徒歩7分／JR「大阪駅」から徒歩15分





## 『レオパルディ』

Il giovane favoloso / 2014 / 137min.

監督●マリオ・マルトーネ / Mario Martone

マルトーネ監督の新作は、前作「われわれは信じていた」と同じ19世紀を舞台に大詩人、ジャコモ・レオパルディの激しい人生をたどる。幼い頃から神童ぶりを発揮するジャコモだが、身体に障害があり厭世的で、詩人として不遇な人生を送ったとされる。だが映画は、自由と愛を希求し、いつまでも親友に支えられて幸せな時間を過ごした姿も濃く映す。詩人役のエリオ・ジェルマーノが圧巻の演技を披露。本作はイタリアで大ヒットした。撮影はレナート・ベルタ。ヴェネチア国際映画祭コンペ部門出品。



## 『いつだってやめられる』

Smetto quando voglio / 2013 / 100min.

監督●シドニー・シビリア / Sydney Sibilia

1981年生まれの新星、シビリア監督の長編デビュー作。素人ギャングの顛末を独特のビジュアル感覚と小気味良いリズムで描いて、スマッシュヒットした。37歳のピエトロは天才的な生物学の研究者だが、予算削減で大学の職を失う。研究に人生を捧げてきたピエトロが出した結論は、合法ドラッグを作って稼ぐこと。そのために、元同僚で不遇をかこつて経済学、化学、人類学、ラテン語の専門家を呼び集めて、犯罪集団を組織する。イタリアのゴールデン・グローブ賞で最優秀コメディ賞を受賞。



## 『ザ・ワンダーズ(仮題)』

Le meraviglie / 2014 / 111min.

監督●アリーチェ・ロルヴァケル / Alice Rohrwacher

イタリア中部の人里離れた土地で昔ながらの製法で養蜂園を営む一家。ジェルソミーナは4人姉妹の長女で、気難しい父の独自の教育を受けてきた。深奥なるその地で、家族は蜂と自然のリズムの中で生活を営んでいたが、ある夏の終わり、少年を預かったことにより、そのリズムに変化が生じる。夢と現実のあわいを行きつ戻りつしつつ、成長を遂げる少女と、葛藤する父の姿を描いた家族の物語。2014年カンヌ映画祭審査員グランプリ受賞作品。初秋、テアトル梅田ほか各地で順次公開。

# FESTIVAL DEL CINEMA ITALIANO 2015 OSAKA



## 『僕たちの大地』

La nostra terra / 2014 / 100min.

＋上映後  
トークショー

監督●ジュリオ・マンフレドニア / Giulio Manfredonia

「人生、ここにあり!」が大きな感動を呼び起こしたマンフレドニア監督の新作は、協同組合に実際に起きた出来事を基にしたコメディ。南イタリア、プーリアの小さな村では、マフィアから接収した土地で協同組合が有機農業を始めようとしていた。助けを請われて、反マフィア活動に取り組むフィリップが協同組合に加わる。フィリップと個性的な仲間たちの前に様々な問題が立ちあがるが、乗り越えて目標に向かっていこうとする。マフィアの脅しに屈せず、自分たちの土地を守ろうとする人々の勇気が胸を打つ。



## 『生きていてすみません!』

Scusate se esisto! / 2014 / 106min.

監督●リカルド・ミラーニ / Riccardo Milani

前作「ようこそ、大統領!」が爆笑を誘ったミラーニ監督は、コメディ映画で活躍がめざましいパオラ・コルテッレージとイクメンのラウル・ポヴァを新作に起用。実在の女性を題材にした喜劇で、まともやヒットを飛ばした。セラーナは飛び抜けた才能を持つ建築家。国外で活躍するが、故郷のイタリアが恋しくなり、帰国する。だが、待ち受けていたのは女性にとって厳しい就労状況。別の仕事を掛け持ちして、なんとか生計を立てる。やがて、建築家の仕事をもらえるチャンスが訪れるが…。



## 『人間の値打ち』

Il capitale umano / 2013 / 109min.

監督●パオロ・ヴィルズイ / Paolo Virzi

「見わたすかぎり人生」「はじめての大切なもの」が巧みな語り口で観客を魅了したヴィルズイ監督の新作は、お金をめぐって交錯する人々の思いをミステリータッチで追っていく。不動産業が厳しいディーノと投資で一財産を築くジョヴァンニ。接点はお互いの子供だけだった二つの家族が投資話で関係を深めていく頃、ジョヴァンニの家の近くでひき逃げ事件が起きる。ダヴィッド・ディ・ドナテッロ賞で最優秀作品賞をはじめ、7部門を制し、米アカデミー賞外国語映画賞のイタリア代表にも選ばれた。



## 『幸せの椅子』

La sedia della felicità / 2013 / 94min.

監督●カルロ・マッツァクラータ / Carlo Mazzacurati

昨年1月に57歳の若さで亡くなったマッツァクラータ監督の遺作。イザベッラ・ラゴネーゼ、ヴァレリオ・マスタンドレア、ジュゼッペ・パティストンら演技派俳優のコミカルなやりとりがほほ笑ましい冒険譚。美容師のブルーナは、顧客の一人から急死する直前に宝が詰まった椅子の在りかを告げられる。借金を抱えるブルーナは、同じくお金に困っている刺青師のディーノと一緒に椅子を探し求めるが、謎の司祭が二人の後を追う。はたして二人は無事に「幸せの椅子」を見つけられるだろうか?

## イタリア映画祭2015

■入場料(税込)	前売1回券(日時指定)	当日1回券(日時指定)
※前売券・当日券 全席指定	一般 1,300円	1,600円
	学生・60歳以上 1,200円	1,500円

※前売券のご購入には別途手数料などががかかります。詳細については、チケットぴあサイトでご確認ください。http://t2.pia.jp/guide/charge.html

### ■前売券をお買い求めの方へ

- 発売日: 4月4日[土] 10:00~5月8日[金] 19:00
- 販売場所: チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード 1回券: 554-073]  
(チケットぴあ店舗、セブン-イレブン、サークルK・サンクス)

●注意事項: 前売券の電話予約は各上映の5日前までです。直接購入は各上映の2日前までとなります。前売券の払い戻し、交換、再発券はいたしません。当日券はその日の上映分を、9日は11:00から、10日は10:30から発売します。前売券が完売の回も、当日券を販売します。高・専・大生、60歳以上の方は、ご来場時に必ず身分の証明となるものをお持ちください。

※5月9日[土] 18:15~の『ザ・ワンダーズ(仮題)』の回は、本編前に短編『カンツォーネ』(Una canzone/アリーチェ・ロルヴァケル監督/2014/11min.)を上映します。

※5月10日[日] 11:00~の『僕たちの大地』の回は、上映後に野村雅夫さん(FM802 DJ)によるトークショー(約20分間)があります。入場無料です。

※すべて日本語字幕付きの上映です。上映は各回入れ替え制、定員300名、開場は上映20分前です。上映作品はイタリア側都合により、変更の可能性あります。上映作品はこの映画祭のために輸入するプリントのため、英語字幕などが入っている可能性があります。



# FESTIVAL DEL CINEMA ITALIANO 2015 TOKYO

東京でもイタリア映画祭2015開催!

2015.4.29[水・祝]-5.5[火・祝] 有楽町朝日ホール(東京・有楽町)